

Hi, friends 2 Lesson 7 第3時

6 本時の学習 (3/6)

(1)本時のねらい : まとまった』話を聞いてそのあらすじがわかり、様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現に慣れ親しむ。

(児童のめあて… 例: 英語で「桃太郎」の物語を理解しよう!)

(2)評価規準 ○ まとまった英語の話を聞いて、内容がわかっている。(外国語への慣れ親しみ)

○ 今まで慣れ親しんだ語いや表現、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いている。

(外国語への慣れ親しみ)

(3)展開

過程	児童の活動	学級担任 (T 1) の活動	・ 指導上の留意点 ☆準備物 (コ)(慣)(気) 評価規準 < > 評価方法 ◆他教科との関連
挨拶	○始めの挨拶 “Let’s start !”	“Let’s start !”	
導入	OP.37【Let’s Chant】 We are good friends. リズムに合わせて元気に言う。	・デジタル教材を聞かせる。	
展開	○本日のめあてを知る。 OP.26～36【Let’s Listen】 お話を聞こう ・物語を聞く。(5回目) ・めあてについてペアで確認し、発表する。 OP.37【Activity】 オリジナルの「桃太郎」を作って演じよう。 ・約束事をしっかり確認する。 ・メッセージを持たせた話になるよう各グループでテーマを考える。 ・登場人物を考え、セリフを考える。 * テーマ例 ①地球環境を守る ②絶滅危惧種を守る ③学校をより楽しくする など	・本日のめあてを伝える。 ・聞くときのめあてを提示する。 鬼のセリフではどんな言葉が聞こえたかな？ ・物語を聞かせる。 ・めあてを発表させる。 ・strong, brave の意味を想像させる。 ・活動を説明する。 ・物語を作る際の約束を伝える。 ①桃太郎に出てくる strong, brave, friends という言葉を大切に、登場人物を工夫する。 ②今までに慣れ親しんだ語いや表現を多く取り入れ、聞いている人に分かるようなセリフにする。 ③聞いている人にわかるようなセリフの言い方やジェスチャーを工夫する。 ④グループで配役し、全員がセリフを言う場面を作る。	(慣)まとまった英語の話を聞いて、内容がわかっている。 < 行 動 観 察 > ◆総合的な学習の時間 (慣)今まで慣れ親しんだ語いや表現、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いている。 < 行 動 観 察 >
挨拶	○ふり返りカードに記入し、発表。 ○終わりの挨拶 “Let’s finish !”	○ふり返りカードを配付。 何人かに発表させ、回収する。 “Let’s finish !”	☆ふり返りカード